



ヨコハマ^想い vol.53 矜持

ラグビー元日本代表
ラグビーワールドカップ2019™
開催都市特別サポーター(神奈川・横浜)

吉田 義人さん
Yoshihito Yoshida

1969年生まれ、横浜市在住。19歳でラグビー日本代表入り。ラグビーワールドカップ2回出場、ラグビー世界選抜代表として日本人唯一3度選出。オールブラックス戦でのダイビングトライは世界ラグビー史上伝説となる。筑波大学院修士号取得。日本人初のプロラグビー選手としてフランス、日本でプレー。35歳で現役を引退後、指導者の道を歩む。現在(一社)日本スポーツ教育アカデミー理事長。スポーツを通じた人材育成に力を注ぐとともに、7人制ラグビー専門チームの代表兼監督として、オリンピックを育成し、ラグビーの魅力を広めるため積極的に活動している。

大自然の中でのびのび育つ

秋田県男鹿市の大自然の中で育ちました。僕らの時代は外遊びが主流。当時、男鹿市にはラグビースクールしかありませんでした。昔からラグビーが強い地域で、ラグビーをこよなく愛する人たちがスクールを立ち上げたんですね。友達に誘われ、9歳の時、スクールに入りました。

中学生になると、ラグビー部がないため野球部へ入部します。ところが1年生の途中で小学生からのラグビー仲間数人が先生にお願いしてラグビー部が新設されました。当時肘を壊していた僕はラグビー部へ転部。風光明媚な寒風山に通じる道で、登っていく車を恰好の練習相手に置き換え、追いつき追い越すトレーニングをする毎日。ラグビーに熱中し、秋田が誇るラグビーの名門校、秋田県立秋田工業高校に入学。1年生でレギュラーとなり花園で全国優勝を果たしました。3年生の時には高校日本代表に選ばれ、ニュージーランドにも遠征しました。

恩師との出会い

僕が中学生の時、「熱中時代」という学園ドラマが流行しました。水谷豊さん演じる北野広大先生にあこがれて、「僕はあいう先生になりたい」と強く思いました。夢は地元で体育教師になること。本家の長男に生まれ、後継ぎだと言われて育ってきたので「親の面倒は僕が見る」という気持ちもありました。

でも実際は希望していた大学ではなく、ラグビーの強豪校、明治大学に進学することになりました。

大学進学後、まずレギュラー、次は関東代表、次は日本代表、そして世界の代表になる、と目標に向かってラグビーに取り組む日々。19歳で日本代表に選出され、4年生の時には明大キャプテンを任命され、単独優勝として9年ぶりの大学日本一になりました。「自律しろ」、「自ら考えろ」、「自分に誇りを持って」、そして「前へ」。北島忠治監督に教えられた4年間は、僕の一生の誇りです。

日本ラグビー界で数々の伝説をつくってきた吉田義人さん。「自分を甘やかさず、大志を抱き、一つのことをやり抜く覚悟があれば、結果は自然とついてくる」と話す吉田さんの言葉一つひとつに説得力があるのは、「矜持」を持っているからなのですね。

仕事とラグビー

大学生の時に「自分は何の仕事に携わりたいのか」を見出すことができませんでした。明治には体育学部がなく、体育の教員免許は取れない。体育教師になる夢は諦めるしかありませんでした。

日本では当時、ラグビーはアマチュアのスポーツ、ラグビーで報酬をもらえるわけではありません。実業団スポーツが盛んでしたが、「試合に支障を来さない部署へ配属される」など、プロみたいな扱いをされるのです。僕は他の社員同様、最前線で仕事もこなし、自分の時間を使ってラグビーにも打ち込める、そんな会社を探していた。すると百貨店の伊勢丹の取締役でラグビー部の部長でもあった方から「今まで経験してきたことをぜひ会社にもラグビー部にも還元してほしい」とお声がけいただきました。仕事は仕事で頑張る、余暇はキャリアを伸ばすための勉強ができる、ラグビーもできる。本家の長男で東京に残りたいと言えない自分の代わりにわざわざ秋田の両親を訪ね、説得してくれた。その方は私の「東京の父」です。人の縁に恵まれていると思います。

経験を活かす

伊勢丹での10年間は、僕にとって大きな学びでした。いろいろな人に巡り合い、考え方や価値観を磨き、ワールドカップにも出場する中、初めて指導者という立場を意識することにもなり、知識や見識を求めて筑波大学大学院修士課程体育研究科へ歩を進めました。休日は大学院で勉強。寝る時間が本当に少なくなりました。でも自分の意志でやろうと決めたことですから、すごく楽しかった。

大学院で書いた論文が「ゴールデン・エイジ」についてです。医学的な観点からいうと子どもには骨、筋肉、神経系という成長の3つの

柱があり、神経系が一番過敏になる時期が9~12歳。ボールを投げる、キャッチする、打つ、蹴る、ジャンプする、体を転がす、そういう運動動作が速いスピードで身になっていく。その時期に様々なスポーツをやらせてあげるべき、という考え方です。今、その理念に基づき、次世代の子どもたちを育てるべく、活動しています。僕の息子も今9歳で、まさにゴールデン・エイジ。野球、サッカー、ラグビー、陸上、ピアノなど様々なことを体験させています。家族の中で一番忙しいのは息子ですね(笑)。

決戦の地、横浜

横浜に住んで10年が経過します。横浜は都会ですが、緑豊かで海もあり、自分が育った男鹿半島にどことなく似ているので、とても親近感が湧きました。子どもが学校から帰ってきて、玄関にランドセルを置いてすぐに外に遊びに行けるような、そういう環境で暮らしたかったので、妻の両親も賛成してくれた高台に建つ風通しの良い今の家を、とても気に入っています。

来年、世界3大スポーツビッグイベント*の一つであるラグビーワールドカップがアジア初日本で、その決勝戦がこの横浜の地で行われます。横浜市民としては、世界中からラグビーファンをお迎えするわけですから、どこよりも率先して「ウエルカム」を合言葉に、みんなで貴重な体験を分かち合おうという気概を持って盛り上げなければいけません。

もともとイングランドで子どもたちの品位や品格、マナー教育を促すためのスポーツとして取り上げられたラグビーの魅力、今後とも積極的に広く発信していきたいと思っています。

*夏季オリンピック、サッカーワールドカップ、ラグビーワールドカップ

取材協力: ALLISON HOUSE Cafeあざみ野

ヨコハマグランドインターコンチネンタル ホテルで味わう
イタリアンランチブッフェ

TWO plus ONE

トゥー・プラス・ワン

3名様以上のご利用で1名様分が無料に!

10月9日(火)~11月29日(木) 月曜~木曜
11時30分~14時30分(L.O.) ※90分制

平日ランチ限定

みなとみらいのベイフロントに建つ同ホテル2Fのイタリア料理「ラ ヴェラ」。季節の食材を使った本格イタリアンがカジュアルに楽しめる大人気のランチブッフェが、3名様以上のグループで利用すると1名様分が無料になる特別企画「TWO plus ONE」をヨコハマよみうり読者限定で実施!



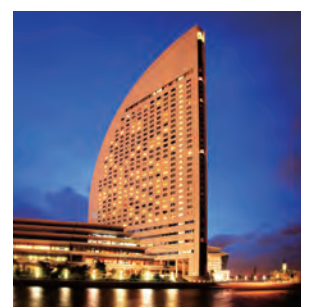
TWO plus ONE

3名様以上のご利用で、3名様ごとに1名様分を無料に

料金 通常 大人3,400円(5~12歳 1,400円)
→3名様利用の場合、1名様あたり2,278円(最大33%OFF)
※料金は税金・サービス料込み ※他の割引やクーポンとの併用不可 ※大人料金のみ対象

ご利用方法 「ヨコハマよみうりを見て」と前日までにご予約ください

大きな窓から、大観覧車やベイブリッジなどパノラミックな眺望を楽しめます



INTERCONTINENTAL
YOKOHAMA GRAND

ご予約・お問い合わせ
☎045(223)2267
(レストラン予約)9:00~20:00
横浜西区みなとみらい1-1-1
みなとみらい線みなとみらい駅より徒歩約5分
www.interconti.co.jp/yokohama